

第1次中間まとめ（案）に関して

9月19日開催のインターネット上の海賊版対策に関する検討会議（第8回）は欠席となりますため、書面にて意見を申し上げます。

まずは、第1次中間まとめ（案）として取りまとめていただいたことに御礼申し上げます。

さて、アニメ業界の各事業者は、インターネット上の海賊版サイトについて、個別の事業者のみならず、他業界のコンテンツ事業者や一般社団法人コンテンツ海外流通促進機構（CODA）等の業界団体とも連携しながら、10年以上にわたり対応を続けてまいりました。

しかし、海賊版サイトは手を変え品を変え侵害行為を続けており、もはや民間レベルの対応だけでは手に負えない状況です。

そのような状況の中で、本年4月に知的財産戦略本部・犯罪対策閣僚会議より発表された「インターネット上の海賊版サイトに対する緊急対策」には、アニメ業界としましても大きな期待を寄せております。

本会議での検討は、アニメ業界のみならず、我が国のコンテンツ産業全体に大きな影響を及ぼすものであり、正規版流通の促進にむけて、改めて、ブロッキングの可能性も含めたスピーディな対応を求めるものです。

なお、今回ご提案のありました、第1次中間まとめ（案）の「第4章 今後の進め方」につきましては、異論ございませんので申し添えます。

平成30年9月18日

一般社団法人日本動画協会 理事長
石川 和子